

# 「○○○○だった」沖縄

沖縄は1972年5月15日、本土復帰を果たした。復帰の前と後で何が変わったのか。沖縄の人に思いを聞いた。

那覇市の大湾宗弘さん(79)が初めて本土を訪れたのは、復帰前の1960年。高校の修学旅行だった。

当時、本土へ行くには、「琉球列島米国民政府」が発行する特別パスポートが必要だった。アメリカ統治下で育った大湾さんにとっては「当たり前だった」という。

船で28時間かけて鹿児島に着。そこから京都や東京などを訪れた。A「『最初で最後の本土だ』と思っていた同級生も多かった」と振り返る。復帰後は自由に行き来できるようになり、本土から観

光客が大勢訪れるようになった。本土に復帰した日について覚えているのは、雨が降っていたこと、大規模なデモが行われたことぐらい。それよりも6年後の78年7月30日のほうが強く印象に残っている。それまで、車はアメリカと同じ右側通行だったが、一夜にして左側通行に変わったのだ。「復帰を実感した」という。

ただ、アメリカ軍基地は沖縄に

残った。大湾さんは「沖縄の人たちは戦争でひどい目にあったから平和を求める気持ちが強い。それなのに戦争が身近であり続けている」と話す。

沖縄は、軍の飛行機やヘリコプターによる事故や騒音など問題を抱えたままだ。B「復帰50年を手放しでは喜べない。私たちが複雑な思いを抱えていることを知ってほしい」と話す。

## 沖縄 激しい地上戦

沖縄では太平洋戦争中、国内で唯一、住民を巻き込んだ地上戦が行われた。

1945年4月1日、アメリカ軍18万人が沖縄本島

に上陸。日本軍の戦力は少なく、地元の人に加え、中学生以上の学生も軍に動員された。住民の多くは日本軍と行動をとる激しい砲撃で亡くなっ

た。沖縄では当時の県民約40万人のうち4分の1が死亡。沖縄での戦いが終わった6月23日を「慰霊の日」と制定している。

(2022年5月13日 読売中高生新聞より)

1 見出しの○○○○に入る4字の言葉を、記事中から探して書きましょう。

--	--	--	--

2 記事を読んだAさんは、自分でも沖縄復帰について調べ、次のような表をつくりました。①~③に当てはまる言葉を書きましょう。

**返還で変わったこと**

- 通貨がアメリカドルから、日本円に切り替わった
- 車が  側通行から、 側通行に変わった
- 本土に行くのに、 やビザがいなくなった
- 沖縄を統治していた「琉球列島米国民政府」がなくなった

①
②
③

3 記事中のA、Bは、どのようなことを読み手に伝えようとして書いたと考えられますか。それぞれ最も適切なものを選び、番号で答えましょう。

- ① 本土は船で1日以上もかかるので、沖縄の人はあまり行きたがらなかったこと。
- ② 戦争中の悲惨な体験から、沖縄の人は本土・アメリカ両方を恨んでいたこと。
- ③ 沖縄の人にとって、本土は自由には行くことができない遠い存在だったこと。
- ④ 本土復帰は、沖縄の人にとってあまり嬉しいことではなかったということ。
- ⑤ 本土復帰によって、沖縄の抱える問題が全て解決したわけではないこと。

A
B



# 「○○○○だった」沖縄

沖縄は1972年5月15日、本土復帰を果たした。復帰の前と後で何が変わったのか。沖縄の人に思いを聞いた。

那覇市の大湾宗弘さん(79)が初めて本土を訪れたのは、復帰前の1960年。高校の修学旅行だった。

当時、本土へ行くには、「琉球列島米国民政府」が発行する特別パスポートが必要だった。アメリカ統治下で育った大湾さんにとっては「当たり前だった」という。

船で28時間かけて鹿児島に到着。そこから京都や東京などを訪れた。A「『最初で最後の本土だ』と思っていた同級生も多かった」と振り返る。復帰後は自由に行き来できるようになり、本土から観

光客が大勢訪れるようになった。本土に復帰した日について覚えているのは、雨が降っていたこと、大規模なデモが行われたことぐらい。それよりも6年後の78年7月30日のほうが強く印象に残っている。それまで、車はアメリカと同じ右側通行だったが、一夜にして左側通行に変わったのだ。「復帰を実感した」という。

ただ、アメリカ軍基地は沖縄に

残った。大湾さんは「沖縄の人たちは戦争でひどい目にあったから平和を求める気持ちが強い。それなのに戦争が身近であり続けている」と話す。

沖縄は、軍の飛行機やヘリコプターによる事故や騒音など問題を抱えたままだ。B「復帰50年を手放しでは喜べない。私たちが複雑な思いを抱えていることを知ってほしい」と話す。

沖縄 激しい地上戦  
沖縄では太平洋戦争中、国内で唯一、住民を巻き込んだ地上戦が行われた。

1945年4月1日、アメリカ軍18万人が沖縄本島

に上陸。日本軍の戦力は少なく、地元の人に加え、中学生以上の学生も軍に動員された。住民の多くは日本軍と行動をともにして南部に追込まれ「鉄の暴風」と呼ばれる激しい砲撃で亡くなっ

た。沖縄では当時の県民約40万人のうち4分の1が死亡。沖縄での戦いが終わった6月23日を「慰霊の日」と制定している。

- 1 見出しの○○○○に入る4字の言葉を、記事の中から探して書きましょう。

アメリカ

「アメリカ統治下」などの言葉から答えが分かります。沖縄の人は「琉球列島米国民」とされました。

- 2 記事を読んだAさんは、自分でも沖縄復帰について調べ、次のような表をつくりました。①~③に当てはまる言葉を書きましょう。

### 返還で変わったこと

- 通貨がアメリカドルから、日本円に切り替わった
- 車が ① 側通行から、② 側通行に変わった
- 本土に行くのに、③ やビザがいなくなった
- 沖縄を統治していた「琉球列島米国民政府」がなくなった

①	右
②	左
③	(特別)パスポート

A: 「最初で最後」とは「1回きり」という意味です。直後に「復帰後は自由に」とあることから考えましょう。B: 「複雑な思い」から復帰50年を喜ぶ気持ちはあるが、それだけではないと読み取れます。直前の「問題を抱えたままだ」がヒントです。

車の通行ルールが変わったことが書いてある部分を見つけられましたか。復帰前は本土に行くのに「特別パスポートが必要だった」とあることから、復帰後は、いらなくなったことが分かりますね。

- 3 記事中のA、Bは、どのようなことを読み手に伝えようとして書いたと考えられますか。それぞれ最も適切なものを選び、番号で答えましょう。

- 本土は船で1日以上もかかるので、沖縄の人はあまり行きたがらなかったこと。
- 戦争中の悲惨な体験から、沖縄の人は本土・アメリカ両方を恨んでいたこと。
- 沖縄の人にとって、本土は自由には行くことができない遠い存在だったこと。
- 本土復帰は、沖縄の人にとってあまり嬉しいことではなかったということ。
- 本土復帰によって、沖縄の抱える問題が全て解決したわけではないこと。

A	③
B	⑤



読んでみよう！

◆ミー太郎のおすすめ記事

県民斯克戦へリ 後世特別ノ御高配ヲ...

沖縄戦での住民について記した有名な文がある。海軍で1万人の部隊を率いていた大田実司令官が6月6日、自決の直前に東京の軍あてに送った電報だ。

多くの青年らが防衛召集に進んで応募したこと、若い女性も率先して軍に身をささげたこと、軍の作戦変更にも文句を言わず従ったこと……。そして、草木の一本も残らないほ

日本軍司令官  
異例の電報

どの焦土と化そうとし、食糧も尽きかけている現状

を伝えた上で、こう結んでいる。

「県民斯克戦へリ 県民ニ対シ後世特別ノ御高配ヲ賜ランコトヲ」（県民はこのように戦った。県民には後世、特別のご配慮をいただきたく願います）

献身的に協力してくれた住民に感謝しつつ、報いることができなかった無念を伝える異例の電報だ。



コクッ



(2022年5月13日 読売中高生新聞より)

沖縄では多くの住民が戦いに巻き込まれました。

6月23日の「慰霊の日」のことも、忘れないようにしたいですね。